

「成田市立図書館サービス計画」における令和5年度の実績について

○図書館サービス評価の指標

「成田市立図書館サービス計画」では、図書館サービス全体の評価指標として、市民の図書館利用登録率、年間レファレンス¹処理件数、公開書架冊数に占める新規購入冊数の割合の3つを指標とし、市民への図書館サービスの浸透を評価するものとしています。

令和5年度における実績は、各指標とも中間及び最終目標値並びに前年度実績を下回っているため、今後詳細な分析を行うとともに、目標値の達成に向けた取組内容の再検討等を進めてまいります。

指標1：市民の図書館利用登録率

…市民への図書館サービスの浸透を評価する

2014年度 実績値	2019年度 実績値	2020年度 実績値	2021年度 実績値	2022年度 実績値	2023 (R5) 年度 実績値	2025年度 中間評価 目標値	2030年度 最終評価 目標値
26.8%	27.9%	23.6%	22.3%	24.3%	22.6%	29.5%	30.8%

指標2：年間レファレンス処理件数（本館、公津の杜分館、成田公民館図書室の合計）

…課題解決支援を評価する

2014年度 実績値	2019年度 実績値	2020年度 実績値	2021年度 実績値	2022年度 実績値	2023 (R5) 年度 実績値	2025年度 中間評価 目標値	2030年度 最終評価 目標値
21,178件	22,398件	19,838件	21,193件	21,977件	19,258件	22,500件	23,000件

指標3：公開書架冊数に占める新規購入冊数の割合（本館、公津の杜分館の合計）

…蔵書の鮮度を評価する

2014年度 実績値	2019年度 実績値	2020年度 実績値	2021年度 実績値	2022年度 実績値	2023 (R5) 年度 実績値	2025年度 中間評価 目標値	2030年度 最終評価 目標値
13.5%	12.6%	11.7%	11.7%	10.7%	9.7%	13.0%	13.5%

¹ レファレンス：図書館利用者が学習や調査、研究等のために必要な資料及び情報を求めた際に、司書が図書館の資料と機能を活用して検索を支援し、回答の含まれる資料や情報源を提供するサービス。利用者と資料とを結ぶ業務であり、近代図書館の利用サービスの中心になるとされている。

○取組内容の自己評価結果について

「成田市立図書館サービス計画」に基づく令和5年度の取組内容の自己評価結果は以下のとおりとなります。

【令和5年度 自己評価結果】

判定	A	B	C	D	E	合計
項目数	5	86	9	9	5	114
割合	4.4%	75.4%	7.9%	7.9%	4.4%	100%

【令和4年度 自己評価結果】（参考）

判定	A	B	C	D	E	合計
項目数	3	92	25	15	13	148
割合	2.0%	62.2%	16.9%	10.1%	8.8%	100%

※判定基準

- A: 達成基準を満たし、かつ十分な成果がある
- B: 達成基準を満たしている
- C: 達成基準を満たしていない、あるいは満たしているが課題がある
- D: 未実施
- E: 方向転換

令和5年度に「A」又は「B」と判定をした取組は合わせて91項目あり、これまで調査・研究してきたサービスを具体化し、新たな試みを取り入れたサービスの実施に繋がったことなどにより、全体に占める割合は令和4年度の64.2%から79.8%に上昇しています。なお、「A」判定とした取組は次の5項目です。

- ・資料の展示（1-ア-④）
- ・おはなし会スペシャルの実施（2-（2）-エ-①）
- ・青少年コーナーの新設の検討（2-（3）-ア-①）
- ・中高生向けの講座の実施と評価（2-（3）-オ-①）
- ・利用案内（中国語）の作成（2-（7）-エ-①）

一方で、「C」又は「D」と判定をした項目は18項目（15.8%）あり、その内2年以上続けて「C」以下の判定となったものも12項目（10.5%）ありました。

目標の先送りが続いている取組については、実施目標の見直しや今後の方向性について再度検討をいたします。